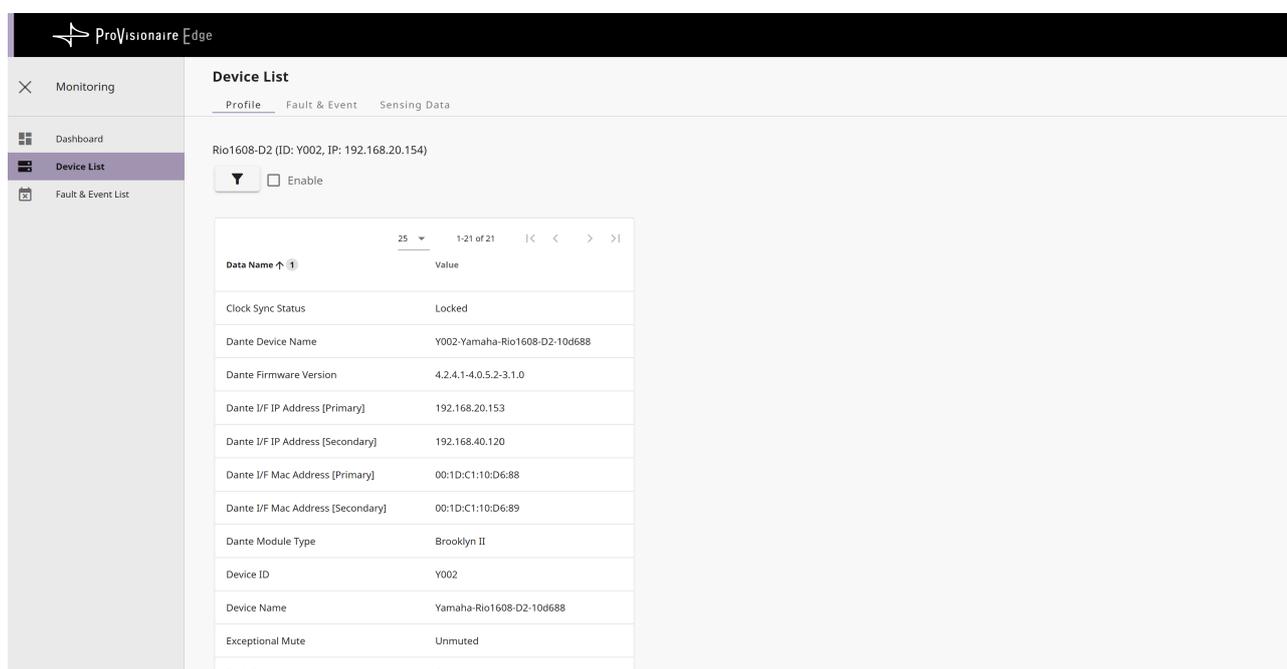


ProVisionaire Edge

V1.2 ユーザーガイド



The screenshot displays the ProVisionaire Edge web interface. The left sidebar contains navigation options: Monitoring, Dashboard, Device List (selected), and Fault & Event List. The main content area is titled "Device List" and shows details for a specific device: Rio1608-D2 (ID: Y002, IP: 192.168.20.154). Below the device name, there is a search icon and an "Enable" checkbox. A table lists various device parameters and their values.

Data Name ↑ 1	Value
Clock Sync Status	Locked
Dante Device Name	Y002-Yamaha-Rio1608-D2-10d688
Dante Firmware Version	4.2.4.1-4.0.5.2-3.1.0
Dante I/F IP Address [Primary]	192.168.20.153
Dante I/F IP Address [Secondary]	192.168.40.120
Dante I/F Mac Address [Primary]	00:1D:C1:10:D6:88
Dante I/F Mac Address [Secondary]	00:1D:C1:10:D6:89
Dante Module Type	Brooklyn II
Device ID	Y002
Device Name	Yamaha-Rio1608-D2-10d688
Exceptional Mute	Unmuted
Fault Status	OK

目次

1. はじめに	2
1.1. ご注意	2
1.2. ProVisionaire Edgeでできること	2
1.3. ソフトウェアの動作条件	3
1.4. インストール手順	3
1.5. 起動方法	3
2. 基本のプロセス	4
2.1. ProVisionaire Edge Setting ネットワーク設定	4
2.1.1. ネットワークインターフェースの設定	4
2.1.2. デバイス登録	5
2.2. デバイスのモニタリング開始	7
3. 画面構成	8
3.1. 「ProVisionaire Edge Setting」ウィンドウ	8
3.1.1. モニタリング画面	8
3.1.2. About画面	9
3.2. 「ProVisionaire Edge」モニタリングウィンドウ	10
3.2.1. ダッシュボード画面	10
3.2.2. デバイスリスト画面	11
3.2.3. 障害・イベントリスト画面	13
4. 困ったときは	15

1. はじめに

このたびは、ヤマハProVisionaire Edgeをダウンロードいただき、ありがとうございます。

ProVisionaire Edgeは、ローカルネットワーク上の対象デバイスからログやステータス情報を収集し、情報をブラウザ上でモニタリングするためのWindows向けソフトウェアです。

本書は、ProVisionaire Edge（V1.2時点）の使用方法について説明するものです。ProVisionaire Edgeが対象とするデバイスについては、ProVisionaire Edgeダウンロードページに掲載されている互換表をご確認ください。

1.1. ご注意

- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ iPad、iPhone、AirDropは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ App StoreおよびiTunesは、米国その他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 商用目的で音源を使う場合、著作権にご注意ください。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、ヤマハプロオーディオサイトからダウンロードできます。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

1.2. ProVisionaire Edgeでできること

ProVisionaire Edgeをインストールすると以下の2つのソフトウェアがインストールされます。それぞれのソフトウェアの機能概要は以下の通りです。

ProVisionaire Edge

登録した対象デバイスの情報やステータス、障害情報や動作のログ情報を閲覧できます。

ProVisionaire Edge Setting

ネットワークインターフェースの設定や、対象デバイスの登録などの設定をします。また、ProVisionaire Edgeの動作を構成する各サーバーサービスのステータスを確認できます。

NOTE

ProVisionaire Edgeでは、ステータスや障害の情報をリアルタイムに更新表示しません。情報を更新する際は手動でページの更新（再読み込み）が必要です。

1.3. ソフトウェアの動作条件

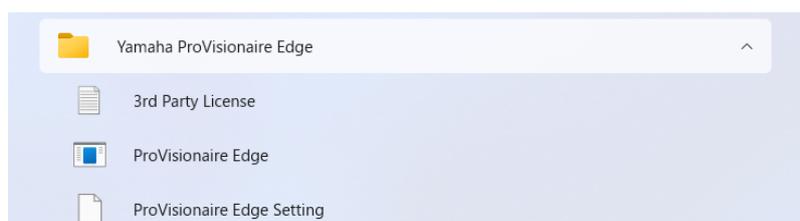
- OS : Windows 11 / Windows 10(64bitのみ)
- CPU : Intel Core i以上
- Memory : 4 GB以上
- HDD/SSD : 2.2 GB以上
- その他 : Ethernet(1000BASE-T以上)またはWi-Fi搭載

1.4. インストール手順

1. ProVisionaire EdgeのインストールファイルをPCにダウンロードします。
ヤマハプロオーディオサイトのProVisionaire製品ページにリンクがあります。
<https://www.yamahaproaudio.com/>
2. Zipファイルを任意の場所に展開します。
3. フォルダの中の「Install_PVEdge.exe」ファイルをダブルクリックします。
4. インストーラーの指示に従って、アプリケーションをインストールします。

1.5. 起動方法

コンピューターのスタートメニューから起動します。



2. 基本のプロセス

2.1. ProVisionaire Edge Setting ネットワーク設定

ProVisionaire Edgeをインストールしたら、コンピューターのスタートメニューからProVisionaire Edge Settingを起動してネットワークインターフェースやモニタリング対象デバイスを設定してください。ProVisionaire Edge Settingの詳細については、後述する[ProVisionaire Edge Settingウィンドウ](#)を参照してください。

2.1.1. ネットワークインターフェースの設定

デバイス通信ネットワークインターフェース				
デバイスとの通信に使用する1つ以上のネットワークインターフェースを選択してください。				
No.	ネットワークインターフェース	IP	MAC	Delete
1	Intel(R) Ethernet Connection (16) I2...	0.0.0.0/0.0.0.0	B8:20:8E:78:72:90	
2	Microsoft Wi-Fi Direct Virtual Adapter	0.0.0.0/0.0.0.0	4C:5F:70:0E:61:CD	
3	Bluetooth Device (Personal Area Net...	0.0.0.0/0.0.0.0	4C:5F:70:0E:61:D0	

1. ProVisionaire Edgeが稼働するネットワークインターフェースのIPアドレスを、モニタリングする対象デバイスと同じサブネットワークになるように設定してください。
2. ProVisionaire Edge Settingのモニタリングウィンドウで、デバイスとの通信に使用する1つ以上のネットワークインターフェースを選択してください。
[インターフェースの追加]ボタンを押すとネットワークインターフェースを追加できます。
3. 画面右上の[Save]ボタンを押して設定を保存してください。

NOTE

・ネットワークインターフェースの上限数

ProVisionaire Edgeでは最大8個のネットワークインターフェースを介してデバイスと通信できます。

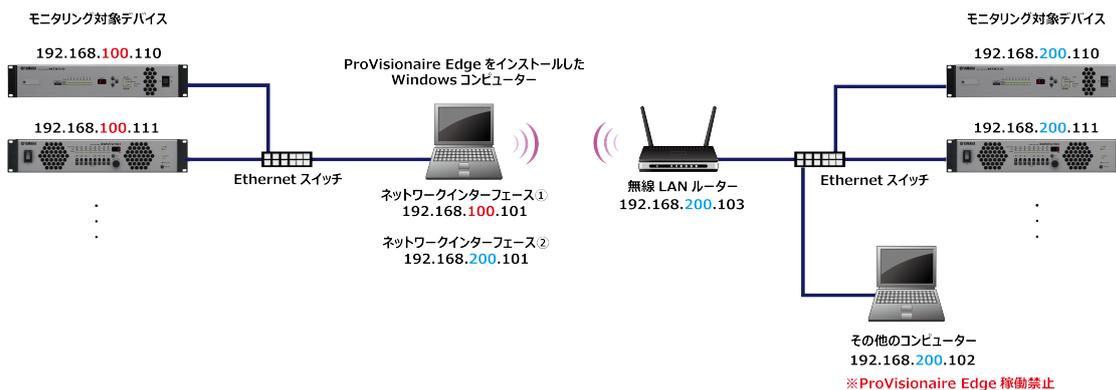
・ネットワークインターフェースのIPアドレス割り当て制限

ProVisionaire Edgeでは、1つのネットワークインターフェースに1つのIPアドレスのみを割り当ててください。複数のサブネットを監視するために複数のIPアドレスを割り当てたい場合は、それぞれのIPアドレスのためのネットワークインターフェースをコンピューターに増設する必要があります。

・ProVisionaire Edgeが稼働するPCの台数

1つのサブネット上でProVisionaire Edgeを起動して稼働することができるコンピューターは1台までです。複数のコンピューターでProVisionaire Edgeが稼働した場合、他のProVisionaireアプリケーションおよびデバイス間の通信ができなくなることがあります。

また、ProVisionaire Monitoring Serviceと併用することはできません。



2.1.2. デバイス登録

ProVisionaire Edgeでモニタリングするデバイスを登録します。

1. ProVisionaire Edgeでは、選択されたネットワークインターフェース上にあるデバイスが自動で検出されるため、ProVisionaire Edge Settingでのデバイスの手動登録は原則不要です。

NOTE

自動登録されるデバイスは、ProVisionaire Edge Setting モニタリング画面の「モニタリング対象デバイスの登録」の一覧には表示されません。

モニタリング対象デバイスの登録
ProVisionaire Edgeは選択されたネットワークインターフェースを介してLAN内の互換性のあるデバイスを検出し、自動的にモニタリングとロギングを開始します。しかし、以下の場合にはモニタリング対象デバイスを手動登録する必要があります：

- 他のネットワークセグメントに存在するデバイスをモニタリングする必要がある場合
- 自動検出に対応していない機種をモニタリングする必要がある場合（例：CTL-DM7）

[デバイスの登録](#)

No.	IP	Device type	Model	Delete
1	0 : 0 : 0 : 0	Power Amplifiers	XMV4140	

NOTE

以下の場合には自動で検出されません。ProVisionaire Edge Setting モニタリング画面の「モニタリング対象デバイスの登録」でデバイスの手動登録をしてください。

- 他のネットワークセグメントに存在するデバイスをモニタリングする場合
- 下記の自動検出に対応していない機種をモニタリングする場合（ProVisionaire Edge V1.2時点）
 - ・ DM7 Control
 - ・ DM3 Standard (2台以上接続する場合)

最新の対応デバイスおよび対応ファームウェアバージョンについては、ProVisionaire Edgeダウンロードページに掲載されている互換表をご確認ください。

2. デバイスの手動登録をした場合は、画面右上の[Save]ボタンを押して設定を保存してください。

対象機器（ProVisionaire Edge V1.2時点）

機器名	接続端子	IPアドレス	IPアドレス設定方法
DM7 Series *1	NETWORK端子	任意	SETUP → NETWORK → FOR MIXER CONTROL
DM3 Series *2	NETWORK端子	任意	SETUP → NETWORK → FOR MIXER CONTROL
RIVAGE PM Series (コンソール、DSP) *3	NETWORK[PC]端子	192.168.53.* (固定)	変更できません。
CL/QL Series *4	NETWORK端子	任意	SETUP → NETWORK → FOR MIXER CONTROL
Rio-D2 Series	Dante Primary 端子	任意	SETUP → IP ADDRESS
DME7 *4	NETWORK端子	任意	Settings → IP Settings → DME Control Port
MRX7-D, MTX5-D	Dante Primary端子	任意	UNIT ID および DIP スイッチで設定(192.168.0.xxx)、または MTX-MRX Editor でも任意アドレスに設定可能
MTX3 *4	NETWORK端子	任意	UNIT IDおよび DIP スイッチで設定(192.168.0.xxx)、または MTX-MRX Editor でも任意アドレスに設定可能
PC-D Series	NETWORK端子	任意	NETWORK → CONTROL
XMV Series *4	NETWORK端子	任意	UNIT IDおよびDIPスイッチで設定(192.168.0. xxx)、または Amp Editor でも任意アドレスに設定可能
XMV-D Series	Dante Primary端子	任意	UNIT IDで設定(192.168.0.xxx)、または Amp Editor でも任意アドレスに設定可能
NEXO NXAMPmk2 Series *5	拡張スロット端子	任意	REMOTE CONTROL SETTINGS
DZR/DXS-D Series	Dante Primary端子	任意	UTILITY → NETWORK

*1 DM7 Controlは自動検出されません。Manual IPでの指定を行ってください。

*2 DM3 Standardを2台以上接続する場合は、Manual IPでの指定を行ってください。

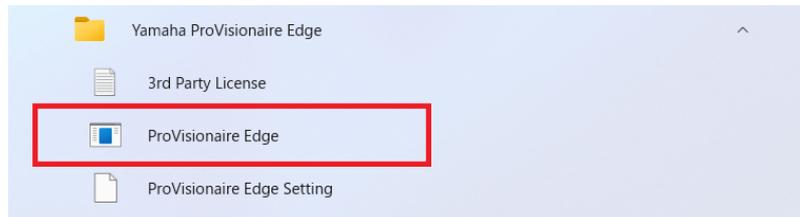
*3 RIVAGE PMシリーズのNETWORK [PC]端子を使用するコントロール通信のトラブルを避けるために、RIVAGE PMシリーズ専用のネットワークインターフェースを使用することを推奨します。他の機器は別のネットワークインターフェースに接続してください。

*4 NETWORK端子で接続するこれらの機器は、NETWORK端子に通信負荷がかかるのを避けるため、できるだけDanteネットワークとは別のネットワークインターフェースを使用することを推奨します。Dante端子で接続する機器は別のネットワークインターフェースに接続してください。

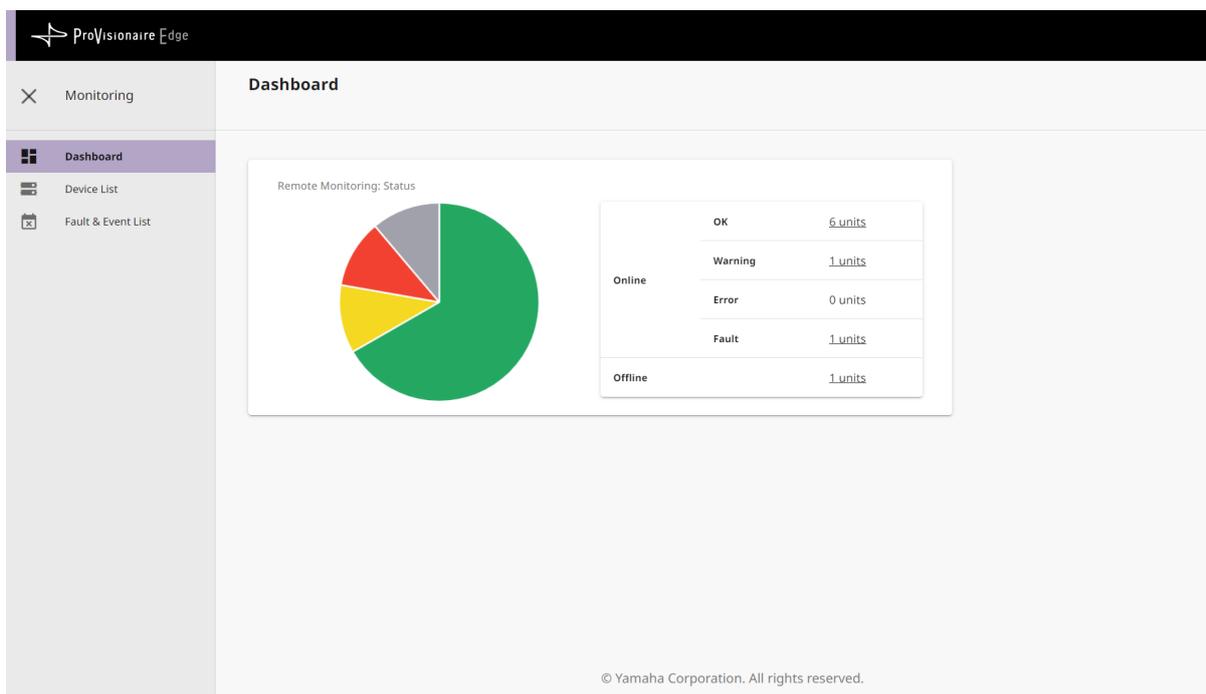
*5 NXAMPmkIIシリーズを監視する場合は、NXRM104またはNXAE104カードをお使いください。

2.2. デバイスのモニタリング開始

1. モニタリングする対象デバイスとコンピューターをネットワーク接続してください。
2. コンピューターのスタートメニューからProVisionaire Edgeを起動してください。



3. ブラウザ上でProVisionaire Edgeが起動します。デバイスのモニタリングを開始してください。デバイスのモニタリングの詳細については、後述の[ProVisionaire Edgeモニタリングウィンドウ](#)を参照してください。



3. 画面構成

3.1. 「ProVisionaire Edge Setting」 ウィンドウ

「ProVisionaire Edge Setting」 ウィンドウではProVisionaire Edgeの設定をします。
この画面を開くには、[スタートメニュー] → [Yamaha ProVisionaire Edge] → [ProVisionaire Edge Setting] を選択します。

3.1.1. モニタリング画面

ネットワークインターフェースの設定や、対象デバイスの登録などの設定をします。

The screenshot shows the 'Monitoring' settings page in the ProVisionaire Edge application. The interface includes a sidebar with '設定' (Settings), 'モニタリング' (Monitoring), and 'About'. The main content area is titled 'モニタリング' and contains several sections:

- 1 Save:** A button in the top right corner.
- 2 デバイス通信用ネットワークインターフェース:** A section for selecting network interfaces. It includes a table with columns: No., ネットワークインターフェース, IP, MAC, and Delete. One entry is shown: No. 1, Intel(R) Ethernet Connection (16) I2..., 0.0.0.0/0.0.0.0, BB:20:8E:78:72:90.
- 3 インターフェースの追加:** A button to add a new network interface.
- 4 モニタリング対象デバイスの登録:** A section for registering devices. It includes a table with columns: No., IP, Device type, Model, and Delete. One entry is shown: No. 1, IP 0 : 0 : 0 : 0, Device type Power Amplifiers, Model XMV4140.
- 5 デバイスの登録:** A button to register a device.
- 6 日時表示フォーマット:** A dropdown menu for date and time format, with a sample '2024/04/08 08:58:54'.
- 7 データベースサイズの上限:** A slider control for the database size limit, currently set at '約 1 GB'. A note states: 'このサイズを超えると古いデータから自動的に削除されます'.
- 8 ProVisionaire Edge HTTP Serverが使用するTCPポート (デフォルト: 50081):** A text input field containing '50081'.
- 9 ProVisionaire EdgeがデバイスからIoTデータを収集するために使用するTCPポート (デフォルト: 50080):** A text input field containing '50080'.

① [Save] ボタン

ProVisionaire Edgeに設定を反映させます。

② [デバイス通信用ネットワークインターフェース]

デバイスの稼働情報を取得するために使用するネットワークインターフェースを選択します。

③ [インターフェースの追加] ボタン

クリックするたびにインターフェースが追加されます。

④ [モニタリング対象デバイスの登録]

ProVisionaire Edgeと異なるネットワークセグメントにあるデバイスや自動検出に対応していないデバイスをモニタリングする場合、デバイスのIPアドレスを指定してモニタリング対象として登録します。

⑤[デバイスの登録]ボタン

クリックするたびにデバイスが追加されます。ネットワーク上のデバイスのIPアドレスと対象モデルを設定してください。

⑥[日時表示フォーマット]

[障害・イベントリスト]の表示時間のフォーマットを指定します。

⑦[データサイズの上限]

指定したサイズを超えると古いデータから自動的に削除されます。

高度な設定**⑧[ProVisionaire Edge HTTP Serverが使用するTCPポート（デフォルト:50081）]**

モニタリング情報を他のコンピューターに渡すためのTCPポート番号を設定します。
TCPポート番号を変更した場合は、Windowsファイアウォールの設定も変更してください。

⑨[ProVisionaire EdgeがデバイスからIoTデータを収集するために使用するTCPポート（デフォルト:50080）]

モニタリング情報を収集するためのTCPポート番号を設定します。
TCPポート番号を変更した場合は、Windowsファイアウォールの設定も変更してください。

3.1.2. About画面

ProVisionaire Edgeの動作を構成するサーバーサービスのステータスを確認できます。

The screenshot shows the 'About' page of the ProVisionaire Edge application. The left sidebar contains navigation options: '設定' (Settings), 'モニタリング' (Monitoring), and 'About' (selected). The main content area is titled 'About' and displays 'サービス動作ステータス' (Service Operation Status) in a table format.

Service	Version	Status
ProVisionaire Edge Web Server	1.1.0	Service Running
ProVisionaire Edge Collector	1.2.0	Service Stopped
ProVisionaire Edge Setting	1.2.0	Service Running
PostgreSQL	psql (PostgreSQL) 14.5	Service Running
		16 MB

3.2. 「ProVisionaire Edge」 モニタリングウィンドウ

「ProVisionaire Edge」モニタリングウィンドウでは、ProVisionaire Edgeで対応デバイスの稼働状況を監視できます。

この画面を開くには、Windowsの[スタートメニュー] → [Yamaha ProVisionaire Edge] → [ProVisionaire Edge]を選択します。

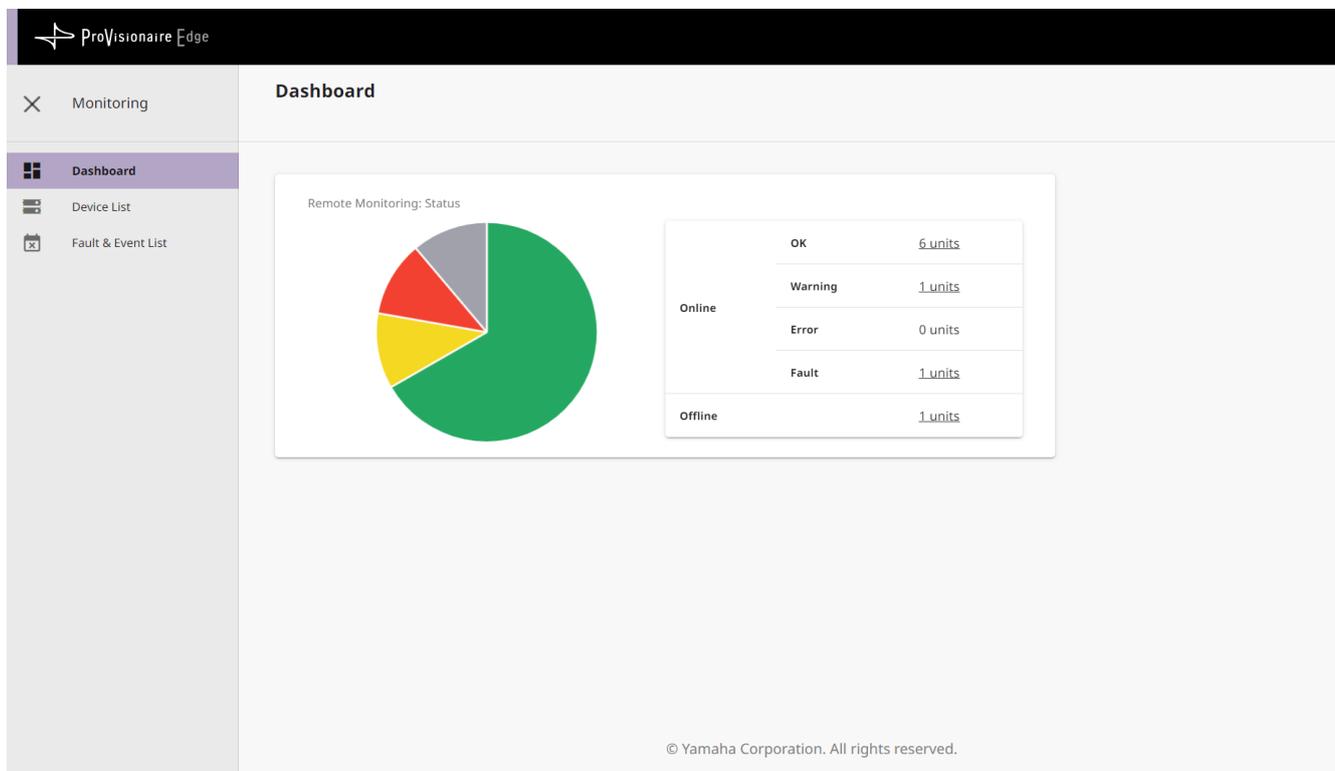
NOTE

最新の状態を表示するには、ブラウザーのページの更新（再読み込み）を行ってください。

3.2.1. ダッシュボード画面

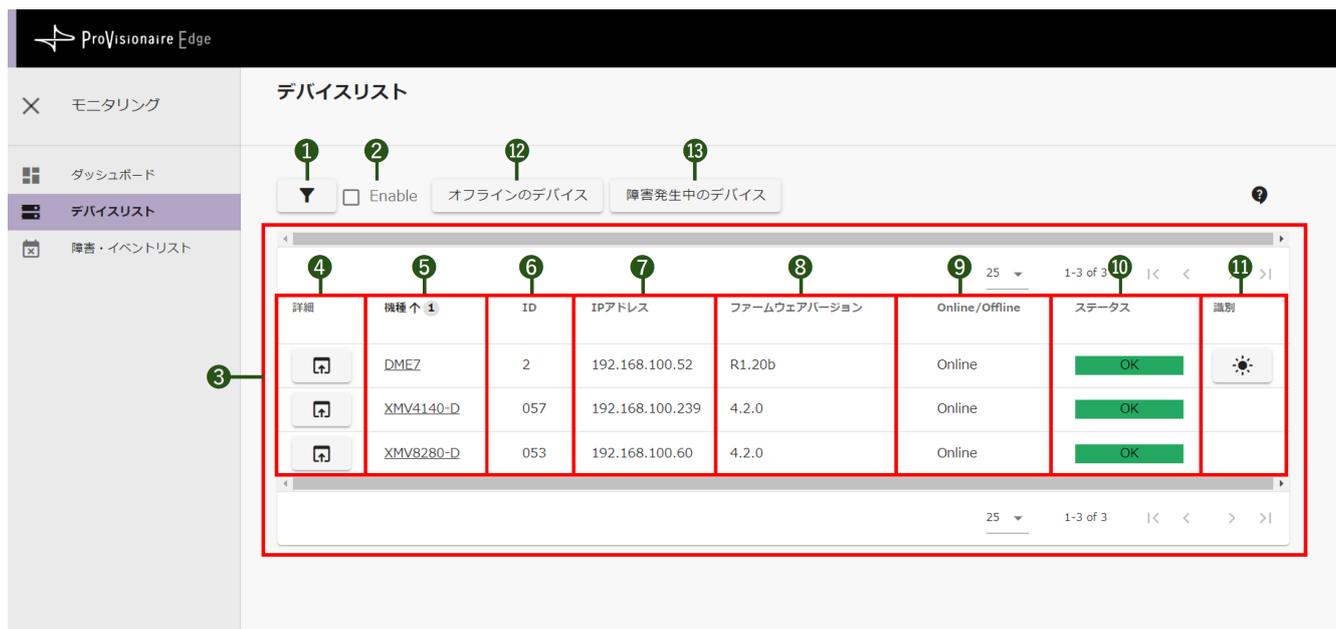
デバイス全体のステータス(OK、Warning、Error、Fault)を表示します。

- OK : 異常なし
- Warning : 機器による自動回避・予防・保護、または前兆検知
- Error : 一時的な機能不全（原因：誤設定・誤操作・誤配線・誤運用など）
- Fault : 復帰不能な機能不全（原因：ハードウェア故障など）



3.2.2. デバイスリスト画面

ProVisionaire Edgeが収集したデバイスの稼働情報を表示します。



①[フィルター]ボタン

フィルターの設定画面を表示します。

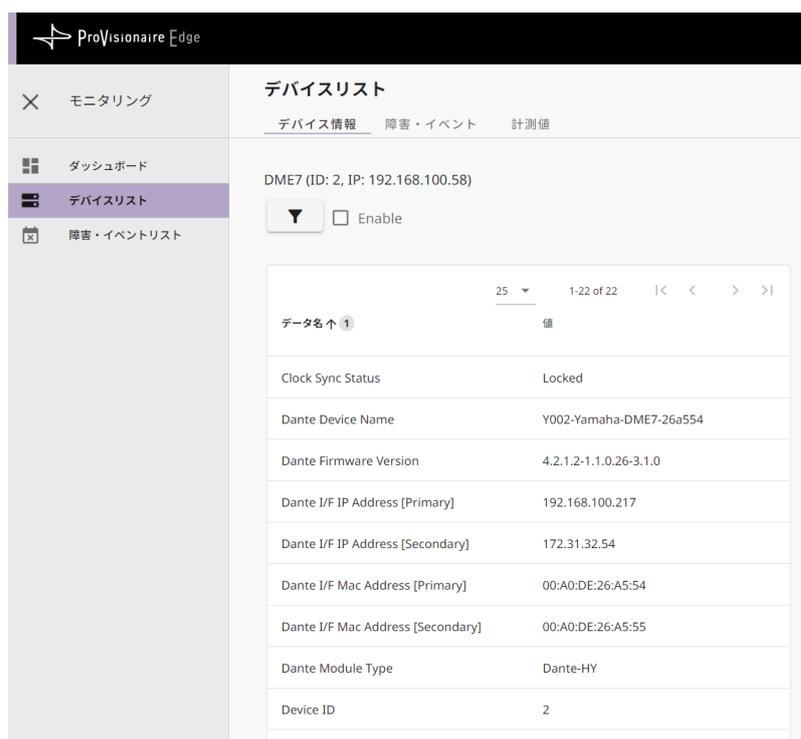
②[Enable]チェックマーク

チェックすると、フィルターを有効にします。

③デバイス一覧

・④[詳細]ボタン

デバイスの詳細情報を表示します。



- **⑤機種**
デバイスのモデル名
- **⑥ID**
デバイスのUNIT ID
- **⑦IPアドレス**
デバイスのIPアドレス
- **⑧ファームウェアバージョン**
デバイスのMAINファームウェアバージョン
- **⑨Online/Offline**
デバイスの接続状態 (Online/Offline)
- **⑩ステータス**
デバイスのステータス (OK/Warning/Error/Fault)
- **⑪[識別]ボタン**
クリックすると機器のインジケータが数秒間点滅します。

⑫[オフラインのデバイス]ボタン

オフラインのデバイスのみがリストに表示されます。

⑬[障害発生中のデバイス]ボタン

障害が発生しているデバイスのみがリストに表示されます。

3.2.3. 障害・イベントリスト画面

全てのモニタリング対象デバイスで発生した障害・イベントの情報を一覧で表示します。

機種	ID	日時	重大度	イベントタイプ	ステータス	発生回数	メッセージ
DME7	2	2024/03/06 07:49:06	OK	IP Address Assigned (AutoIP) [Device Control Port]	Momentary	1	IP address interface
DME7	2	2024/03/07 09:33:41	OK	Time Synchronized	Momentary	1	Date and
DME7	2	2024/04/12 07:03:01	OK	IP Address Assigned [DME Control Port]	Momentary	1	IP address
DME7	2	2024/03/06 07:49:06	Error	Leader W/C Unlock	Resolved	1	Wrong w clock sou
DME7	2	2024/03/07 07:51:41	Error	Leader W/C Unlock	Resolved	1	Wrong w clock sou
DME7	2	2024/03/07 07:51:46	Warning	No Dante Connection [1]	Occurred	1	No netw Please ct
DME7	2	2024/04/12 07:03:01	OK	IP Address Assigned [Device Control Port]	Momentary	1	IP address
DME7	2	2024/04/12 07:03:01	Error	Leader W/C Unlock	Occurred	1	Wrong w clock sou
DME7	2	2024/04/12 07:03:11	Warning	Dante Secondary Error	Occurred	1	The Dante
DME7	2	2024/03/06 07:49:06	OK	IP Address Assigned (AutoIP) [to Dante Module]	Momentary	1	IP address interface

①フィルターボタン

フィルターの設定画面を表示します。

②[Enable]チェックマーク

チェックすると、フィルターを有効にします。

③障害・イベント一覧

- ④機種
デバイスのモデル名
- ⑤ID
デバイスのUNIT ID
- ⑥日時
障害やイベントが発生した日時
- ⑦重大度
発生した障害やイベントの重大度
 - OK : 異常なし
 - Warning : 機器による自動回避・予防・保護、または前兆検知
 - Error : 一時的な機能不全（原因：誤設定・誤操作・誤配線・誤運用など）
 - Fault : 復帰不能な機能不全（原因：ハードウェア故障など）
- ⑧イベントタイプ
発生したイベントのタイプ

- ・ ⑨ **ステータス**

発生した障害・イベントのタイプ

- Momentary : イベントの発生
- Occurred : 障害発生状態への遷移
- Resolved : 障害解消状態への遷移

- ・ ⑩ **発生回数**

次の障害やイベントが発生する前に発生した同一障害やイベントの発生回数

- ・ ⑪ **メッセージ**

発生した障害の詳細情報

⑫ [未解決]ボタン

障害が発生しているデバイスで未解決のもののみを表示します。

⑬ [全てクリア]ボタン

ProVisionaire Edge内の全てのログをクリアします。ログのクリアを確認する画面を表示します。

4. 困ったときは

症状	原因	対応
ネットワーク上にデバイスが存在するのに、ProVisionaire Edgeでデバイスが見えない。	デバイスが自動登録に対応していない機種のため、デバイスの登録がされていない可能性があります。	ProVisionaire Edge Settingの「モニタリング対象デバイスの登録」でデバイスを手動登録してください。 自動登録非対応機種（ProVisionaire Edge v1.2時点） ・ DM7 Control ・ DM3 Standard ※2台以上接続する場合
ネットワーク上のデバイスをProVisionaire Edge Settingで登録できない。	対象デバイスがProVisionaire Edgeのサポート対象外である可能性があります。	ヤマハプロオーディオサイトのProVisionaire Edgeの互換表をご確認ください。 互換表は、"ProVisionaire Edge Compatibilities"で検索してください。

© 2024 Yamaha Corporation

2024年5月 発行

YJ-A0